

邑楽郡青少推だより 第5号

令和2年7月15日発行



少年の主張全国大会は、中学生が日頃の生活の中で感じた家族や友人、地域の人々に対する思いや感謝、あるいは感動したり感銘を受けた経験、更には将来への決意などを自分の言葉で表現し、同世代のみならず社会に向けて発表する場として、昭和54（1979）年の「国際児童年」記念してスタートしました。

そして、この大会を通して、多くの中学生の共感を呼び、また大人の方々に現代の中学生に対する理解と関心を深めていただきたいとの思いも込め、毎年実施されています。

しかし、今年度は、新型コロナウイルスの影響により、都道府県大会や地区大会等中止せざるを得ない地域があることから、今大会に限り全国大会への「直接エントリー制度」が設けられました。

群馬県では、例年のような生徒や聴衆が一堂に会する形での開催が不可能であること、書面審査では「発表する」という本来の目的を達せないことなどにより、県大会の開催中止を決定し、それに伴い、東毛地区大会も中止することになりました。

少年の主張東毛地区大会は、『中学生に身の回りで起きた身近な問題や広く社会に目を向けて、感じたこと考えたことを、多くの聴衆に伝えるという貴重な経験を通して、社会の一員としての自覚をもってもらうこと』また、『現在の中学生在がどのようなことを考えているのか、多くの方に知っていただくこと』をねらいとし、東部管内の各市町より推薦された中学生19名（*）が、毎年素晴らしい発表をしてくれます。

*** 桐生市：4名、太田市：6名、館林市：2名、みどり市：2名、邑楽郡：各町1名**

昨年度も発表者による素晴らしい主張がありました。その主張に対して、審査員長より講評をいただいておりますので、掲載させていただきます。

審査員長講評

小田 隆

第41回少年の主張東毛地区大会が、みどり市笠懸野文化ホールにおいて開催されました。この大会は、中学生の皆さんが日常生活を送る中から、日ごろ感じていることや考えていることを、自分の言葉で多くの人前で発表することにより、社会の一員としての自覚を高めてもらうとともに、多くの県民に対して中学生に対する理解や認識を深めてもらい、青少年の健全育成に資することを願って毎年開催されております。

そして、学校の代表としてまた各市町の代表として、本大会に出場した19名の皆さんの落ち着いた堂々とした発表は、来場していただいた皆さんに感銘を与える素晴らしいものでした。

発表者19名の主張は、十分に考えられ練られた中身の濃い内容であり、自らの体験を今後の生活にどのように活かしていくか、また家族・友人との関わりにおいては、単なる

個人の体験にとどまらず中学生としてのあるべき姿とは、そして地域社会や日本・世界の問題に対しては、グローバルな視点からそれを自らの問題としてとらえ、今後どのように関わろうとするのかを、これからの自分自身の生き方や社会のあり方を踏まえ、中学生らしい鋭い感性でとらえ力強く発表をしていました。発表内容も多岐にわたり、今の中学生が広い視野をもって幅広い分野について興味関心を持っていることがわかりました。

皆さんの発表は、主張の内容が共感や感銘をあたえるものであり、構成もしっかりしていて、優劣をつけがたいものでした。そこで、「中学生らしい新鮮な主張で、自分の考えを実現・実践する意欲が感じられるか」また、「主張の内容が個人の体験にとどまらず、一般性や社会性があるか」さらに、「論旨が一貫し、説得力のある発表であるか」等を慎重に審査した結果、最優秀賞に4名の皆さんが選ばれました。4名の皆さんは、東毛地区代表として県大会に出場します。ぜひ自信を持って堂々と発表されることを期待しております。素晴らしい経験をされた19名の皆さんには、今後市町の代表としての誇りを持って、学校生活を送るとともに、自覚と責任を持った社会人として成長することを願っております。

結びに、本大会まで終始温かいご激励をいただきました保護者の皆様、またご指導いただきました校長先生はじめ諸先生方並びにご支援・ご協力いただきました多くの皆様からお礼を申し上げ講評といたします。



今年度の「邑楽郡青少推少年の主張を聴こう研修会」は、過去3年間の郡内中学生の発表原稿をご覧いただき、『少年の主張を読もう研修会』に代えさせていただきます。

来年度の少年の主張東毛地区大会は、ぜひ、会場で応援してください！！

【下記コードより県大会優秀作品をご覧いただけます】



発行/邑楽郡青少年育成推進員連絡協議会
編集・印刷/東部教育事務所生涯学習係
〒373-0033 太田市西本町60-27
TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101

